



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社サン・ライフホールディング 上場取引所 東
 コード番号 7040 URL https:sunlife-hd.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 比企 武
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長(氏名) 佐野 秀一 (TEL) 0463-22-1233
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,207	△23.4	△331	—	△311	—	△370	—
2020年3月期第1四半期	2,883	—	114	—	134	—	8	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △356百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 22百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△60.42	—
2020年3月期第1四半期	1.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	34,387	4,303	12.5
2020年3月期	35,252	4,758	13.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 4,302百万円 2020年3月期 4,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、当社を取り巻く事業環境が新型コロナウイルス感染拡大の影響により不透明な状況のため、現時点では、適正かつ合理的な業績予想を算定することは困難であり、具体的な業績予想数値の公表を延期し、未定とさせていただきます。今後、合理的な業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	6,820,000株	2020年3月期	6,820,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	696,844株	2020年3月期	696,844株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	6,123,156株	2020年3月期1Q	6,483,156株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であることから、未定としております。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、新型コロナウイルス感染症の蔓延による経済活動の自粛、停滞の影響を大きく受けております。売上高は前年同四半期比23.4%減の2,207百万円となりました。主要事業の営業自粛、ご施行の延期・中止・小規模化が進み、営業損失は331百万円（前年同四半期は114百万円の営業利益）、経常損失は311百万円（前年同四半期は134百万円の経常利益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、370百万円（前年同四半期は8百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

各セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

①ホテル事業（ホテル・ブライダル事業）

ホテル事業では、緊急事態宣言の発令により、予定しておりましたご婚礼、ご宴会、ご宿泊、レストラン、イベントの多くが中止もしくは延期となりました。ケータリングやお弁当販売などのご提案を推進しましたが、売上高は前年同四半期比87.3%減の51百万円、営業損失は147百万円（前年同四半期は91百万円の営業損失）となりました。

②式典事業（葬祭・法要事業）

式典事業では、ご葬儀1件あたりの売上高は外出自粛によるご葬儀の小規模化の影響により減少しました。2020年4月には家族葬対応施設「ファミリーホール聖蹟桜ヶ丘」（東京都多摩市）、2020年5月には家族葬対応施設「ファミリーホール藤沢大庭」（神奈川県藤沢市）を開設したものの、ご葬儀件数は微減し、売上高は前年同四半期比21.4%減の1,626百万円、営業利益は前年同四半期比62.3%減の163百万円となりました。

③介護事業（介護事業・有料老人ホーム事業）

介護事業では、介護サービスご利用者の増加とサービス品質向上に努めました。2019年10月よりデイサービス、ショートステイを中心とする「エミーズ鴨宮」、「エミーズ東間門」、「エミーズ原」がグループに加わったことにより、売上高は前年同四半期比31.6%増の443百万円となったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛によるサービス利用の減少や新規入居制限などもあり、営業損失は40百万円（前年同四半期は22百万円の営業利益）となりました。

④その他事業（少額短期保険他）

その他の事業では、少額短期保険収入やハウスクリーニング事業の増加等もあり、売上高は前年同四半期比17.3%増の86百万円となりましたが、保険料の支払により営業費用が増加した結果、営業損失は1百万円（前年同四半期は15百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ864百万円減少し、34,387百万円となりました。これは、現金及び預金の減少等による流動資産の減少981百万円、土地及び建物等の取得による有形固定資産の増加153百万円、のれんの減少等による無形固定資産の減少48百万円があったことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ409百万円減少し、30,084百万円となりました。これは、買掛金及び未払法人税等の減少等による流動負債の減少432百万円があったことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ454百万円減少し、4,303百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失370百万円の計上と配当金の支払97百万円の結果、利益剰余金が467百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、当社を取り巻く事業環境が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により不透明な状況のため、現時点では、適正かつ合理的な業績予想を算定することは困難であり、具体的な業績予想数値の公表を延期し、未定とさせていただきます。

今後、合理的な業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,338,416	8,440,829
売掛金	542,419	456,301
有価証券	208	207
商品	41,049	41,960
原材料及び貯蔵品	56,814	58,375
預け金	543,526	544,565
その他	309,577	306,808
貸倒引当金	△1,553	△375
流動資産合計	10,830,458	9,848,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,475,131	6,637,776
土地	8,039,548	8,163,445
その他(純額)	630,460	497,346
有形固定資産合計	15,145,139	15,298,567
無形固定資産		
のれん	1,606,015	1,563,001
その他	242,954	237,010
無形固定資産合計	1,848,970	1,800,011
投資その他の資産		
投資有価証券	2,580,602	2,600,485
供託金	1,110,465	1,116,465
その他	3,769,442	3,757,301
貸倒引当金	△32,941	△33,779
投資その他の資産合計	7,427,568	7,440,472
固定資産合計	24,421,678	24,539,052
資産合計	35,252,137	34,387,725
負債の部		
流動負債		
買掛金	494,308	303,316
未払金	350,644	310,285
未払法人税等	216,494	36,069
引当金	192,830	80,375
その他	611,988	703,795
流動負債合計	1,866,265	1,433,841
固定負債		
前払式特定取引前受金	26,848,215	26,866,350
引当金	54,790	51,667
退職給付に係る負債	148,348	151,345
その他	1,576,373	1,581,275
固定負債合計	28,627,727	28,650,638
負債合計	30,493,993	30,084,480

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	761,914	761,914
利益剰余金	4,555,199	4,087,214
自己株式	△685,696	△685,696
株主資本合計	4,731,417	4,263,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,608	38,688
その他の包括利益累計額合計	25,608	38,688
非支配株主持分	1,117	1,124
純資産合計	4,758,143	4,303,245
負債純資産合計	35,252,137	34,387,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,883,716	2,207,779
売上原価	2,257,795	1,991,536
売上総利益	625,920	216,242
販売費及び一般管理費	511,456	547,316
営業利益又は営業損失(△)	114,464	△331,074
営業外収益		
受取利息	3,002	2,981
受取配当金	2,236	2,557
前受金月掛中断収入	6,777	6,111
不動産賃貸収入	6,269	5,643
その他	13,814	11,406
営業外収益合計	32,100	28,700
営業外費用		
不動産賃貸費用	2,351	2,220
前受金復活損失引当金繰入額	9,105	6,645
その他	904	64
営業外費用合計	12,361	8,930
経常利益又は経常損失(△)	134,202	△311,303
特別利益		
受取保険金	15,890	-
特別利益合計	15,890	-
特別損失		
固定資産除売却損	28,398	17,085
特別損失合計	28,398	17,085
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	121,694	△328,389
法人税、住民税及び事業税	88,288	35,568
法人税等調整額	24,691	6,050
法人税等合計	112,979	41,618
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,715	△370,008
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	6
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	8,709	△370,014

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,715	△370,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,340	13,080
その他の包括利益合計	13,340	13,080
四半期包括利益	22,056	△356,927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,049	△356,934
非支配株主に係る四半期包括利益	6	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	402,827	2,070,322	336,790	2,809,940	73,776	2,883,716	—	2,883,716
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	58,937	28	—	58,965	791	59,756	△59,756	—
計	461,764	2,070,350	336,790	2,868,905	74,567	2,943,472	△59,756	2,883,716
セグメント利益又は 損失(△)	△91,175	434,946	22,405	366,175	15,906	382,082	△267,617	114,464

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファイナンシャル・サポート・サービス、少額短期保険業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△267,617千円には、セグメント間取引消去12,973千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△280,591千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	51,156	1,626,826	443,246	2,121,229	86,549	2,207,779	—	2,207,779
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,304	57	186	27,547	7,189	34,736	△34,736	—
計	78,460	1,626,883	443,432	2,148,776	93,739	2,242,515	△34,736	2,207,779
セグメント利益又は 損失(△)	△147,699	163,911	△40,875	△24,663	△1,055	△25,719	△305,354	△331,074

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファイナンシャル・サポート・サービス、少額短期保険業、清掃業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△305,354千円には、セグメント間取引消去12,418千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△317,772千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

子会社の設立及び連結子会社による吸収分割

当社は、2020年8月7日開催の取締役会において、新たに株式会社サン・ライフサービスを設立し、当社連結子会社である株式会社サン・ライフの事業の一部（ホテル及びブライダル事業）を会社分割（吸収分割）し、それらの事業を株式会社サン・ライフサービスに承継させることを決議いたしました。また、同日付で、株式会社サン・ライフサービスと株式会社サン・ライフの間で吸収分割契約を締結いたしました。

1. 取引の概要

(1) 対象となる事業の名称及びその事業の内容

事業の名称	株式会社サン・ライフのホテル及びブライダル事業
事業の内容	主として一般顧客様向けに婚礼・宿泊・宴会・レストラン等のサービスを提供しております。

(2) 企業結合日

2020年10月1日（予定）

(3) 企業結合の法的形式

株式会社サン・ライフを分割会社、株式会社サン・ライフサービスを承継会社とする吸収分割

(4) 結合後企業の名称

株式会社サン・ライフサービス

(5) その他取引の概要に関する事項

当社は、当社グループの主力事業として冠婚葬祭、介護、互助会事業を営んでおりますが、急速な少子高齢化・人口減少、価値観の変化によるライフスタイル・ニーズの多様化に対応し、機能的かつ柔軟な経営判断を可能とする体制を図るため2018年10月1日に持株会社体制へと組織再編をいたしました。

今般、組織再編の一環として、ホテル及びブライダル事業における競争率強化並びに、当該事業の枠にとらわれず、顧客ニーズに沿った新たな事業への取り組みを図るべく、同事業に関する新会社を設立し、同事業にかかる資産等を会社分割の手法を用いて新会社に承継することといたしました。これにより、経営責任の明確化、経営判断の迅速化を実現し、当社グループの更なる企業価値の向上を目指してまいります。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理する予定です。